

目黒区 大型紙芝居

『ごみじゃないよ、しげんだよ』

①

ごみ収集車のしゅーしゅーさんは、

今日も、大忙し。

みんなの出したごみを集めて、

ごみを燃やす工場に、運んでいます。

演出ノート

しゅーしゅー

「今日も、ごみがいっぱい重たいなあ」

そこへ、誰かが呼ぶ声が聞こえてきました。

カンちゃん
と
ビンくん

「しゅーしゅーさん」

小さい声で

しゅーしゅー

「ん？わたしを呼んでいるのはだれかな？」

あたりをみまわしてみても、誰もいません。

しゅーしゅー

「おかしいなあ・・・誰がよんでいるんだろう」

しゅーしゅーさんが、

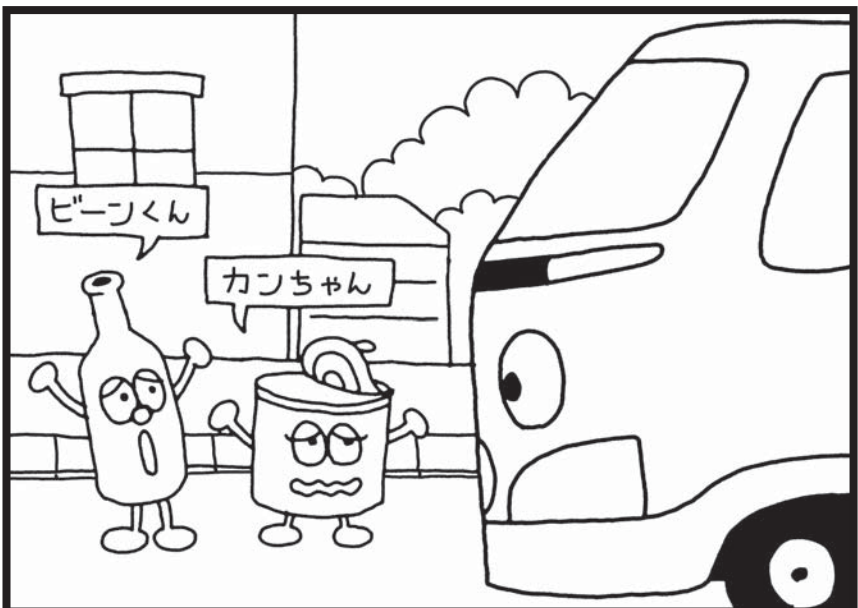
よく声の聞こえる方を探してみると・・・

ぬく

目黒区 大型紙芝居

『ごみじゃないよ、しげんだよ』

②



道のすみっこで、カンちゃんどビーンくんが
しゅーしゅーさんを呼んでいますー！

しゅーしゅー 「ふたりとも、こんなところでどづつしたの？」

カンちゃん 「しゅーしゅーさん、

私たちも乗せてほしいの。」

しゅーしゅー 「うーん・・・

わたしには乗せられないんだよ。(´Д｀)

わたしが運んでいるごみたちは、

燃やされて、捨てられてしまうの。」

ビーンくん 「えー！ー！

ぼくたちも、燃やされちゃうの？？」

しゅーしゅー 「いやー！

カンちゃんとビーンくんはね、

ごみじゃないんだよ。」

ビーンくん 「ぼくたち、もう中身がないのに

ごみじゃないの？」

しゅーしゅー 「カンちゃんとビーンくんはね、

ごみじゃなくて「しげん」って言うんだよ。

しげんは、

生まれ変わることができるんだよ。」

ぬく

演出ノート

目黒区 大型紙芝居

『ごみじゃないよ、しげんだよ』

③



カンちゃん
と
ビンくん

「やったー！
わたしたち生まれ変わるんだ！」

しゅーしゅー

「もうすぐ、

資源を運ぶ、トラックのゲンさんが
この道を通るから乗せてもらうといひよー！」

カンちゃん

「うん！ありがとう、しゅーしゅーさん！」

ビンくん

「ぼくたちはごみじゃなくて
し・げ・ん、なんだね！
しゅーしゅーさん、教えてくれてありがとう！」

ふたりは大喜び！

そんな時、どこからかシクシク泣き声が
聞こえてきました。

しゅーしゅー

「みんな静かに！」

三人が耳を澄ますと・・・

どうやら、しゅーしゅーさんの車の中で
誰かが泣いているようです。

ペットくん

「うえーん うえーん」

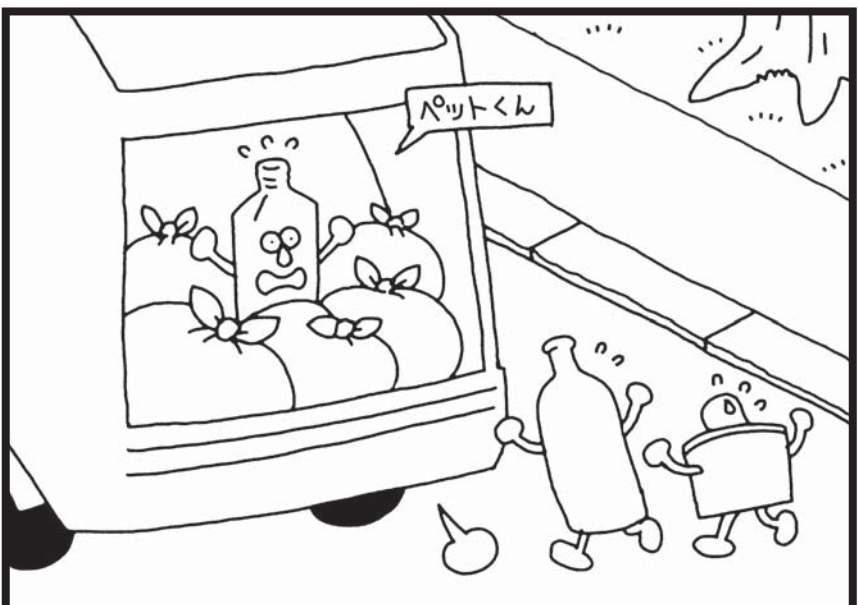
ぬく

演出ノート

目黒区 大型紙芝居

『ごみじゃないよ、しげんだよ』

④



ごみの中から、泣きながら顔をだしたのは
ペットくんでした。

演出ノート

ペットくん

「しゅーしゅーさんに乗っていたら、
みんなの話している声が聞こえて・・・
ぼくは燃やされてしまっって聞いて
悲しくて・・・」

泣きながら話す。ペットくんに、

しゅーしゅーさんが、優しく話しかけました。

しゅーしゅー

「もう大丈夫！

乗る車を間違えてしまったんだね。

ペットくんも、

カンちゃんとビンくんと同じ。

ごみじゃなくて、「しげん」なんだよ。」

ペットくん

「しげん？」

カンちゃん

「そう！

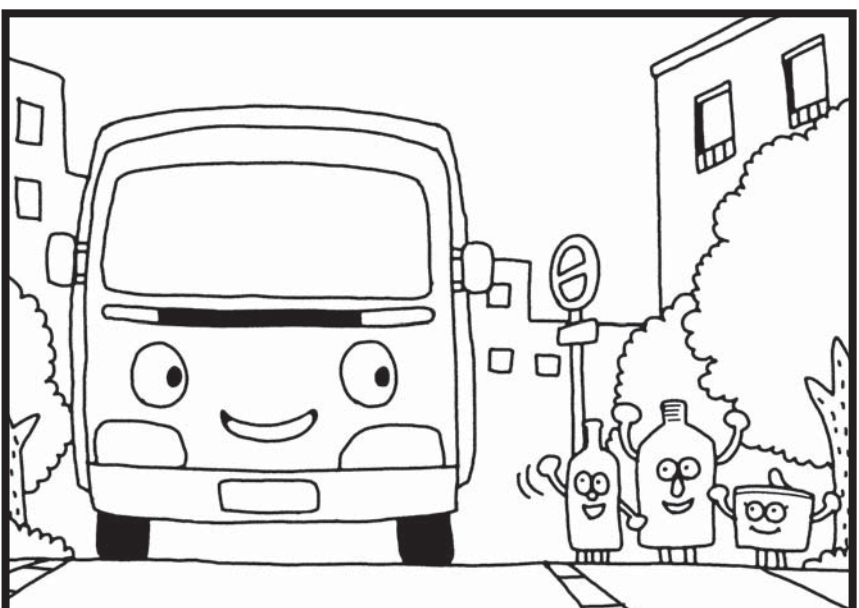
だから泣かないで、ごっこで一緒に
トラックのゲンさんを待とうね。」

ペットくんはみんなに助けられながら
しゅーしゅーさんから降りてきました。

ぬく

『ごみじゃないよ、しげんだよ』

⑤



しゅーしゅー

「じゃあ、わたしはまだまだ

仕事があるからね!

みんな元気で!」

カンちゃんと
ビーンくん

「しゅーしゅーさん、さようならー

ありがとうー!」

さっきまで泣いていたペットくんも
すっかり笑顔です。

ビーンくん

「ペットくん、危なかったなあ。」

ペットくん

「うん!」

でも、みんなのおかげで

乗る車を間違えずにすんだよ!

ありがとう!」

三人がおしゃべりをしていると、
突然!

後ろからプップーと

クラクションが鳴りました。

さつとぬく

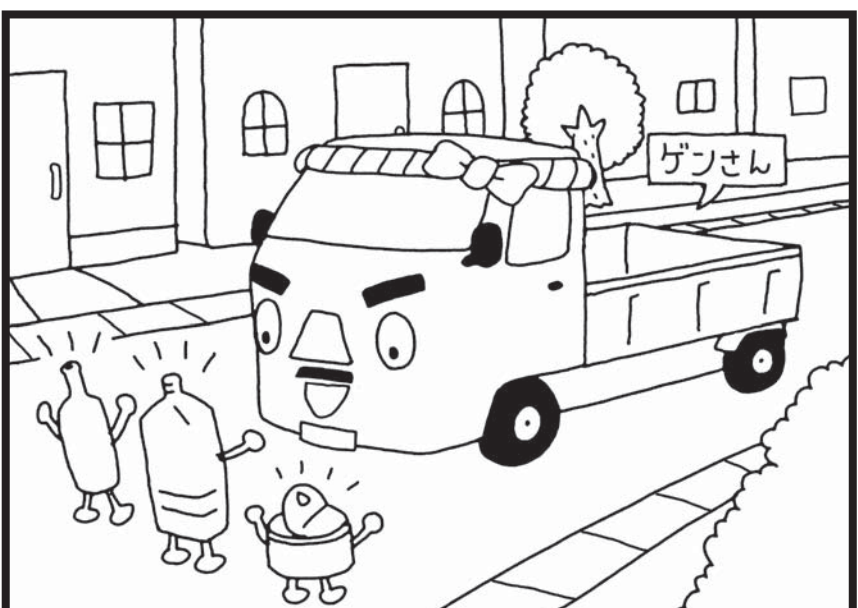
演出ノート

ぬく

目黒区 大型紙芝居

『ごみじゃないよ、しげんだよ』

⑥



ゲンさん

「おい、どいてくれー!」

演出ノート

カンちゃん
と
ビンくん

「あ!ゲンさん!
しげんを運ぶゲンさん!」

ペットくん

「ぼくたちも仲間に入れてほしいんだ。」

ビンくん

「ぼくたちをのせてくれる?」

ゲンさん

「おーいいとも、
みんなしげんだ!乗っていいぞ!
ただし!
ひとつだけ約束があるんだ。
守れるかい?」

カンちゃん

「約束ってなあに?」

ゲンさん

「それはな・・・」

ぬく

目黒区 大型紙芝居

『ごみじゃないよ、しげんだよ』

⑦



ゲンさん

「ビーンくんは、黄色い箱。

カンちゃんは、青い箱。

ペットくんは、袋の中に、

みんな、分かれてお座りできるかい？」

ビーンくん

「どうして、分かれてお座りするの？」

ゲンさん

「ちゃーんと分かれていないと、

生まれ変わることができないんだ！」

ペットくん

「わかった！」

「ぼくたちちゃんと分かれてお座りできるよ！」

ゲンさん

「みんな準備はいいかい？」

ゲンさんは、みんなが約束を

守ってくれたので、とてもご機嫌です。

ちあ、しよしよ出発です。

ぬく

演出ノート

目黒区 大型紙芝居

『ごみじゃないよ、しげんだよ』

⑧



ゲンさんに乗って、

みんなはリサイクル工場に到着しました。

演出ノート

ペットくん

「ゲンさんありがとう！」

ゲンさん

「おう、みんなまた会おうな！」

ビーンくん

「うん！」

「ばいばーらー！」

みんなはゲンさんにまた会うことを約束して
少しのお別れです。

(おしまら)

『ごみじゃないよ、しげんだよ』

平成 23 年 1 月発行

発行 目黒区

原案・企画 目黒区環境清掃部 清掃リサイクル課
東京都目黒区上目黒 2-19-15
目黒区総合庁舎 6 階
電話 03(5722)9883

絵 吉田 晃

編集・印刷 株式会社 青葉広告